

児童生徒の主体的な学びを促す学校図書館の活用

広島県立福山北特別支援学校

本校は、学校図書館リニューアル等事業のモデル校として2年目を迎えています。

1年目は、書架や読書用机椅子、視聴覚機器などの設置と図書の更新、タブレットの導入などの環境整備を行うとともに、読み聞かせ会 DVD 鑑賞会などの、学校図書館の利活用を促す取組を行いました。これらの取組により1年目の貸出冊数は前年度の2.5倍となる4,851冊（H30年度1,932冊）と大きく伸びました。

2年目の今年度は、児童生徒の主体的な学びを促す学校図書館の活用に取り組んでいます。児童生徒がワクワクしながら図書と対話する姿を目指し、次の6つの視点で学校図書館リニューアルを進めています。

※写真は昨年度のものも含まれています。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施しています。

(1) 環境整備



①タブレットと視聴覚機器の整備：タブレットと本の両方で調べることで、学習の幅が広がり、調べる意欲につながっています。また、調べた内容を大型テレビに映して発表するなど、言語化することで知識の習得につなげています。



②蔵書のデータベース化：蔵書をデータベース化することで読みたい本がすぐに調べられるようになり、借りる意欲につながっています。バーコードを読み取る機械の操作にも興味深々です。



③小学部児童の読書活動



カーペットスペースには表紙が見えるように絵本を並べています。



分類配架を見直しました。表示にはイラストを入れ、視覚的にわかりやすく、また親しみやすくしています。

(2) 目的に応じて読む



①リクエストボックスの設置（高等部生徒制作）：児童生徒の視点で「読みたい」本を購入し、蔵書として取り入れています。他の児童生徒の「こんな本が読みたい」、「こんな本があるといいな」といった興味・関心も高まっています。

②蔵書の更新と分類

- ・教職員にも購入希望図書アンケートを実施し、更新しています。
- ・授業の単元や題材に応じて利用しやすいように、「季節」「行事」「生活」などの分類を取り入れています。

③蔵書のデータベース化

- ・児童生徒は、図書室カウンターで読みたい本を担当者に尋ねて検索、予約することができます。
- ・教職員の個々のパソコンからも蔵書検索が可能になりました。
- ・テーマ毎に「おすすめ図書」を作成し、教職員で共有しています。

(3) 本に親しむ

① 読書週間



「読書マラソン」(※1)と「読書でビンゴ」(希望する児童生徒が参加)に取り組みました。

「読書マラソン」では、他の学年のシールの数を見て「もっと借りたい」という意識につながりました。図書の分類を項目にした「読書でビンゴ」では、いつもは読まない分類の本を選ぶことにより、児童生徒の読書の幅を広げることができました。どちらの取組も目標が明確なので、「読書してみよう」という意欲につながりました。

※1…児童生徒が本を1冊借りる毎に図書室に掲示している学年別シートにシール1枚を貼り、借りた本の冊数がわかるようにしました。



賞品の革製のしおり
(高等部生徒制作)

② 「水曜日は図書室へ行こう！」：毎週昼休憩の時間にイベントを行いました。



地域のボランティアグループによる読み聞かせ会 (左) 図書紹介とDVD鑑賞会 (右)：昼休憩の時間に図書室に来る機会を増やすことで、図書室に興味をもつ児童生徒が増えました。イベントが楽しみで、給食を頑張って早く食べ終える児童の姿も見られます。

読み聞かせごっこ：DVD鑑賞が始まるのを待っている間に児童同士で本を読みながら楽しんでいました。

(4) 地域資源の活用



① 図書の寄贈：フラワーライオンズクラブ様から本を寄贈していただきました。贈呈式では各学部を代表して3人の児童生徒が「おしりたんてい」など、子供たちに人気の本8冊を受け取りました。



② 公立図書館学校貸出の利用：福山市立図書館からお借りした本と図書室にある本を参考に、小学部児童は、色々な種類のパンがあることを知り、大好きな「パン屋さんごっこ」に取り組みました。

(5) 自らの考えを深める

高等部生徒による小学部児童への読み聞かせ



①**本の選択**：小学部の児童にどのような本を読み聞かせるか、相手の立場に立って「文章の量」や「話の分かりやすさ」等の観点で考えました。何冊かを読み比べて話し合った結果、同じ言葉が繰り返されて内容が分かりやすい「ねずみくんのチョコッキ」や「でんしゃにのって」などの絵本を選びました。



②**練習**：事前練習では、児童に伝わる声の大きさやスピード、本のめくり方などに着目し、「もっとしっかり開いてくれないと次のページが見えない」、「セリフと合っていない」など相互に評価し、より良く改善しようとする姿が見られました。



③**本番と振り返り**：小学部児童からは、「面白かった」、「もう一回」という感想や、「次の読み聞かせはいつあるの?」と高等部生徒の教室まで訪ねていく姿が見られました。高等部の生徒は、小学部の児童が喜ぶ姿を見て、次回はどのようにすればもっと喜んでもらえるかを考え、次の学びにつなげました。

(6) その他の様々な取組



①**図書に関する作品の掲示**：読書感想文など、児童生徒の作品を図書室に掲示しています。他者に喜んでもらったり、意味づけてもらったりすることで児童生徒の「また読んで書こう」という意欲につながっています。



②**高等部生徒による清掃**：施設清掃の一環として、図書館清掃も授業に取り入れています。



③**本の病院**：破損した本は、これまでは職員によって修繕していましたが、現在は高等部生徒によって修繕されています。



④**高等部生徒によるボランティア活動**：自力通学の生徒が放課後を利用して、本の整理整頓などのボランティア活動に取り組んでいます。